

現在も続く苦しみ、孤児、傷害者、空襲死者の叫び

東京空襲死者 10万人以上の死者を放置

荒れ狂う大火流、ふとんや雨戸が空に舞う。幼児が宙に飛んでいった。容赦なく降り注ぐ焼夷弾、火炎地獄のなか人間が生きながら燃え尽きた。黒こげの死体が山になった。

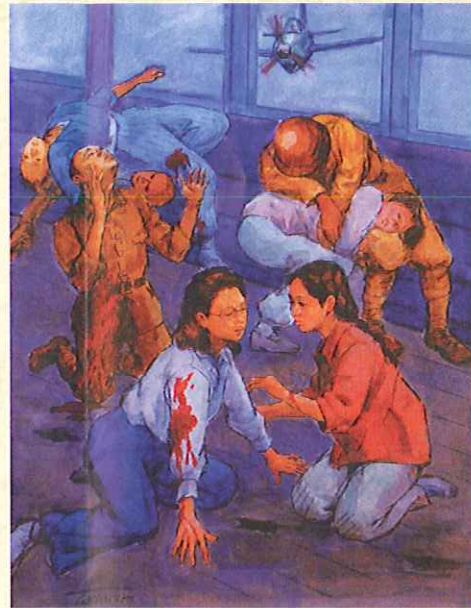
人々は絶叫しながら川へ飛び込んだ。川は溺死、凍死、ショック死、死体で埋まった。

3月10日早朝、軍命令が出され、死体処理がはじまった。中学生や囚人まで動員し、公園などに、形のある遺体10万人以上を埋めた。

錦糸公園13,000体、猿江公園13,000体。(阪神大震災の2倍)など、130ヵ所に及ぶ。軍が直ちに死体処理を行ったため、空襲死者は行方不明になった。遺族は遺体を手にできなかった。

また、海への流失や、ガレキとなったり、埋没した遺体は、この10万体に含まれていない。東京空襲では大多数が行方不明になった。

遺族に引き取られた遺体や、火傷などで後で亡くなった人など合計すれば、死者数は？ 現在も不明。



1945年 赤羽駅で 狩野光男・絵
機銃掃射で片腕を失う



省線遺体 狩野光男・絵

遺体を背負って省線(山手線)に乗り込んできた人。遺体を置いておくと処分されてしまうので、遺体を持ち歩いてきたようだ。

傷害者 焼夷弾の直撃をうけ、腰に穴があく。自費で入院治療。現在、歩くのも困難。空襲で腕や足を失ったり、目が潰された傷害者たちは、人生を狂わされた。

戦災孤児 学童疎開中に都市空襲で親を殺され、家を焼かれ、孤児になった児童が多い。一人で生きられない子は浮浪児になった。国から放りだされた戦災孤児たち。辛酸をなめつくした。

空襲死者・遺族 罪のない一般市民が残酷に殺された。一家全滅も多い。非業の最期を遂げた肉親を葬ることさえできなかった遺族。空襲で難民となった遺族は、現在も苦しんでいる。

国の起こした戦争で殺され、 国から棄てられた民間の弱者



逃げ出さないよう
鉄格子に入れられた戦災孤児
(1946年7月 当時お台場にあった孤児収容施設)

軍人・軍属にはいち早く補償 民間の空襲被害者のみ放置

- ・空襲死者数の追跡調査ナシ。
実数、実態がいまだ不明。
- ・死者氏名の調査ナシ。
死者はこの世に生きて証も、死んだ証もない。
- ・国立戦災追悼碑ナシ。
2005年国会で満場一致で議決したが、まだ出来ない。
- ・資料館、記念館ナシ。
歴史からの抹殺。間に葬るのか。
- ・補償、援護は一切ナシ。
ドイツをはじめ、欧米諸国は軍人と民間人を平等に補償している。
日本だけが、民間人に補償していない。



革靴だけが焼け残った死体 谷村公司・切絵

追悼碑の建立を



一つの骨壺に約300体の遺骨

広瀬美紀・写真

公園などに埋められた遺体は、3年後より公園整備という名目で、死体発掘作業が行われた。遺体は腐りきり、氏名も判明せず、頭蓋骨から数え105,400体あった。この遺骨は関東大震災追悼施設内に置かれたままになっている。死者はまだ安眠できてない。

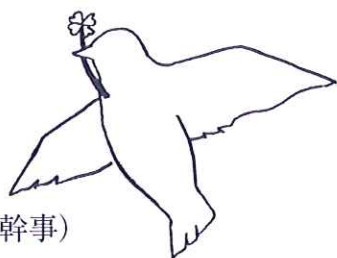
国立戦災追悼施設の建立を切に願っている。

平和実現への祈り

～理想が 現実となる 奇跡を！～

呼びかけ人

荒井 信一 (歴史学者)
 江尻美穂子 (大学教授)
 木村 康子 (母親大会)
 早乙女勝元 (作家)
 品川 正治 (経済同友会・終身幹事)
 高木 敏子 (遺族・作家)
 前田 哲男 (ジャーナリスト)
 増子 忠道 (東都協議会議長・医師)
 山本 俊正 (関西学院大教授)



井上ひさしさんは逝去されました。冥福を祈ります。

賛同者

秋村 宏 (詩人)	佐藤 良助 (日本画家)
浅見 洋子 (詩人)	重富 健一 (大学教授)
阿倍 国博 (税理士)	下出 久雄 (病体生理研究所 名誉理事長)
池田香代子 (翻訳家)	曾根 喜一 (人形劇人)
石川 逸子 (詩人)	祖父江昭二 (大学教授)
石川 弘義 (成城大名誉教授)	高畑 勲 (映画監督)
石山 久男 (歴史教育者 協議会)	田中 史子 (写真家)
今宮 謙二 (大学教授)	田中 正巳 (画家)
梅原 利夫 (大学教授)	丹野 章 (写真家)
岡田 弘隆 (僧侶)	十鳥 英明 (演出家)
小川 政亮 (社会事業大 名誉教授)	富山 和子 (大学教授)
小木 宏 (大学教授)	土井 肇 (画家)
小山内美江子 (脚本家)	中森 伸 (美術家)
鎌倉 隼 (ジャーナリスト)	長谷川 潮 (評論家)
亀井 淳 (ジャーナリスト)	浜林 正夫 (歴史学者)
川上 武 (医師・医事評論家)	古田 足日 (児童文学者)
久保田 猛 (劇団主宰)	三上 満 (評論家)
小島 美子 (歴史民俗博物館 名誉教授)	峰岸 純夫 (大学教授)
小中陽太郎 (ジャーナリスト)	美濃部民子 (画家)
斉藤 貴男 (ジャーナリスト)	三輪 定宣 (大学教授)
坂巻 幸雄 (日本科学者会議 東京参与)	諸井 昭二 (作曲家)
	矢倉 久泰 (ジャーナリスト)
	横湯 園子 (大学教授)
	若松 隆 (大学教授)

(2011. 2. 10現在)

上空より隅田川の向こうに江東方面、手前は中央区、焼け野原



【空襲被害】

1945 (昭和20) 年 3 月 10 日の東京大空襲 2 時間半の空爆で 10 万人以上が殺された。

世界史上類のない大虐殺だった。その後も空襲が続いた。東京は廃墟になり、300 万人が家を失った。全国では 60 万人が空襲で死亡し、1000 万人が罹災した。

日本の都市は戦場と化したのである。

罪のない老人、女、子どもが戦争の犠牲になった。

賛同募金と署名のお願い

空襲の被害を受けたことを示す碑
(東京都台東区)



皆様からの募金で、世論喚起の集会や、宣伝活動など命がけで活動しています。どうかご協力を心からお願い致します。

募金は 1000 円からいくらでも結構です。支援会員は 3000 円です。原告団ニュースで情報をお知らせします。

東京大空襲訴訟原告団 東京大空襲訴訟弁護団 東京大空襲訴訟を支援する会

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-33-4-102

TEL・FAX 03-3616-5531

e-mail: tokyokusyuizokukai@ybb.ne.jp

郵便振替口座 00180-5-356000

賛同団体 全国空襲被害者連絡協議会

東京大空襲訴訟

原告団は

「平和憲法の実現と真の平和を願い」

訴訟に臨んでいます。



画 佐藤良助

東京大空襲訴訟は空襲による民間人が、国を相手に集団訴訟した初めての裁判です。国から 66 年間も放置されてきました。

裁判の目的は

1. 人権の回復です。
(軍人と民間人の極端な差別に NO を突きつけます。)
2. 追悼碑の建立を願います。
(空襲死者の実態を検証し、追悼の意を求めます。)
3. 戦争の惨事をくり返さないことの祈りです。
(戦後 66 年、現在も苦しむ被害者に謝意を求めます。)

東京大空襲訴訟原告団

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-33-4-102

TEL・FAX 03-3616-5531

e-mail: tokyokusyuizokukai@ybb.ne.jp

郵便振替口座 00180-5-356000